

芋井地区住民自治協議会だより

発行者 芋井地区住民自治協議会

第2号 平成20年12月1日発行

協議会新体制がスタート

6月28日、芋井改善センターにおいて平成20年度評議委員会（総会）が行われ、新体制がスタートしました。会議では、平成19年度事業、決算報告、会則の一部改正、役員の選任などが可決承認されました。今年度は、22年度の本格稼働へ向けて補助金一括交付金への対応、団体の見直しなど、各部会を中心に具体的な検討作業を進めて行きます。（新役員名簿は裏面）

就任あいさつ

芋井地区住民自治協議会

会長 丸山 勝



飯綱山もすっかり
冬景色に模様替えを
し、いよいよ芋井郷
も冬本番を迎える季
節となって来ました。

ましては、益々ご健勝のことと存じます。

さて、当芋井地区に於きましては、皆様ご
案内の通り三月十五日に芋井地区住民自治協
議会が設立され、前会長の山口保明さんから、
元より浅学非才の私ではありますが、この大
役を引き継がせて頂きました。

現在長野市は三十地区の行政区があります
が、十一月現在二十一地区で住民自治協議会
が設立されております。新聞、市報等でも何
回か報道されておりますが、平成二十二年度
より全市一斉にこの住民自治協議会が本格ス
タートすることになっております。長野市
区長会、同都市内分権委員会（不肖私は委員
の一人）、長野市都市内分権地区代表者会議

等が四月より数十回開催され今後の住民自治
協議会のあるべき姿、方向付け等々について
検討、研究、協議が重ねられているところで
す。

今まで市からの依頼事務が六十八ある訳で
すが、平成二十二年度からは必ず行う事務が
二十二事務、廃止される事務が五事務、地区
で選択して行う事務が四十一事務となります。
過日市から発表がありました通り、二十二年
度より仮称「一括交付金」が交付されますが、
当地区は活動費二〇三万円、人件費一〇〇万
円、中山間地域に対する支援交付金六〇万円
の合計三六三万円が交付される予定となっ
ております。今後各部会を通じて予算配分をす
ることになっております。

いずれに致しましても、平成二十二年度本
格スタートへ向けてまだまだ難題が沢山あり
ますが、皆様のご意見をお聞きしながら出来
るところから進めて参りたいと思っています。
来年度の早い時期に、住民自治協議会の事務
局の開設と、専従の事務局員において準備を
進めて行きますので、よろしくお願い申し上
げます。合わせて今後のご指導、ご鞭撻の程
節にお願いを申し上げご挨拶とさせて頂きま
す。

活き活き郷づくりをめざして

皆で声かけ合って、
汗出してズク出して

をキャッチフレーズに啓発用のぼり旗を作成し、10月に地区の集会所や道路沿いなどに一斉に掲出しました。活き活き郷づくりに地域の皆さんのご協力をお願いします。



区民運動会がリニューアル

10月13日（体育の日）区民運動会が盛大に開催されました。今年は協議会も実行委員会に加わり、クイズや大玉送りなどの新種目や参加者も増えて、子供からお年寄りまで皆が楽しめる内容となりました。今後も交流の輪が広がる場を盛り上げて行きます。





市依頼事務の見直し案、財政支援策が提示される

市は、平成22年度から住民自治協議会が本格化するにあたって、廃止される団体等が担っている事務（68事務）を見直し、3つに分類した案をまとめ、住民自治協議会に対する市の財政支援策の概要について提示しました。

◎市から依頼する事務（必須事務）…委員等の推薦・選任など22事務

◎廃止する事務…境界立会など5事務

◎住民自治協議会が選んで実施する事務（選択事務）…白線引きなど41事務

◎一括交付金（仮称）

廃止される団体へ交付していた補助金を一括して協議会へ交付するもの（芋井地区は303万円の予定）

◎地域のやる気応援補助金（仮称）

まちおこしなどソフト事業に審査のうえ交付するもの（上限100万円）

◎中山間地域に対する支援交付金（仮称）

地域の互助機能の拡大促進を目的に継続的に交付するもの（1地区60万円）

これらを受けて協議会では、21年度をもって市が関与しない任意団体となる地区組織の存続や活動内容等について、各部会を中心に検討を進めています。

◆ 選択事務については、一括交付金を有効に活用し、住民の意向を反映した「選択と集中」により従来担ってきた事務の見直しを行います。

◆ 団体の存続については、役員の負担を減らすことを基本に統合、廃止の検討を行います。

【市の連合組織、委嘱制度の廃止に伴い任意団体となる団体】

①連合区長会 ②交通安全推進委員会 ③社会福祉協議会 ④保健補導員会 ⑤環境美化連合会

⑥地域公民館連合協議会 ⑦少年育成委員会 ⑧青少年育成芋井地区会議 ⑨子ども育成会

⑩人権同和教育促進協議会

役員懇談会を開催

11月18日芋井改善センターにおいて役員懇談会を行い、長野市社会福祉協議会から地域たすけあい事業（福祉自動車）の説明を受けました。この福祉自動車は、医療機関、介護施設への通院や入退院など、歩行困難な方への外出のお手伝いをするものです。

地区では高齢者等の交通手段の確保が課題ですが、事業の導入に当たっては、財源や協力員（有償ボランティア）の確保が必要となるため、福祉・健康部会を中心に慎重に検討を進めます。



理 事		役 員		
所属団体名等	氏 名	役 職	氏 名	所属団体名等
連合区長会	丸 山 勝	会 長	丸 山 勝	連合区長会
理事区長	和 田 威	副会長（総務部会長）	中 沢 政 信	飯綱高原芋井線期成同盟会
理事区長	傳 田 和 雄	〃 （福祉・健康部会長）	山 口 保 明	社会福祉協議会
理事区長	岡 野 正 繁	〃 （環境・教育文化部会長）	飯塚八十雄	地域公民館連絡協議会
理事区長	小 林 直 三	〃 （安全・防災部会長）	鈴 木 義 雄	消防芋井分団
理事区長	大 宮 猛 雄	〃 （地域振興部会長）	中 井 正 明	飯綱高原観光協会
理事区長	常 田 和 夫	事務局長	麻 場 明 彦	理事区長
理事区長	高 遠 光 男	会 計	高 遠 光 男	理事区長
理事区長	傳 田 重 藏	副部会長（総務部会）	高 遠 光 男	理事区長
理事区長	麻 場 明 彦	〃 （福祉・健康部会）	西 澤 定 男	民生児童委員協議会
理事区長	小 泉 實	〃 （環境・教育文化部会）	荒 井 徳 治	環境美化連合会
社会福祉協議会	山 口 保 明	〃 （安全・防災部会）	小 林 定 治	交通安全協会・安全推進委員会
民生児童委員協議会	西 澤 定 男	〃 （地域振興部会）	大 宮 汎	J Aながの理事
地域公民館連絡協議会	飯塚八十雄	理 事	和 田 威	理事区長
赤十字奉仕団芋井地域	根 岸 静 江	〃	傳 田 和 雄	理事区長
保健補導員会	風間亜紀子	〃	岡 野 正 繁	理事区長
環境美化連合会	荒 井 徳 治	〃	小 林 直 三	理事区長
老人クラブ連合会	武 井 誠	〃	大 宮 猛 雄	理事区長
消防芋井分団	鈴 木 義 雄	〃	常 田 和 夫	理事区長
芋井地区子ども育成会	小 林 源 正	〃	傳 田 重 藏	理事区長
麓原育成会	若林あけみ	〃	小 泉 實	理事区長
交通安全協会・安全推進委員会	小 林 定 治	〃	根 岸 静 江	赤十字奉仕団芋井地域
地域づくり協議会	松 本 義 久	〃	風間亜紀子	保健補導員会
飯綱高原コミュニティ倶楽部	及 川 渡	〃	武 井 誠	老人クラブ連合会
飯綱高原観光協会	中 井 正 明	〃	小 林 源 正	芋井地区子ども育成会
芋井小中学校PTA	丸 山 徹	〃	若林あけみ	飯綱高原育成会
農家組合長会	伝 田 幸 司	〃	松 本 義 久	地域づくり協議会
J Aながの理事	大 宮 汎	〃	及 川 渡	飯綱高原コミュニティ倶楽部
飯綱高原芋井線期成同盟会	中 沢 政 信	〃	丸 山 徹	芋井小中学校PTA
芋井保育園保護者会	小 松 香 里	〃	伝 田 幸 司	農家組合長会
監 事 (連合区長会監事)	伊 藤 碩 陸	〃	小 松 香 里	芋井保育園保護者会
	傳 田 馨	顧 問	丸 山 香 里	市議会議員
	荒 井 光 明		大 谷 幸 男	農業委員会長